

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目E
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

【1月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2003年1月発行】

もくじ	ページ
市民活動全道フォーラム	1~4
NPO越智基金, 情報化人材バンク	5
NPOバンク, 道民チャレンジ21ファンド	6~7
NPOマネジメントセミナー, 企業とNPO交流会	8
「えぬぴおん」, ごちボラ, NPO法人数	9
NPOな・・・書籍案内	10
NPOサポートセンターのサポート事業	11
情報BOX (イベント情報)	12~14
助成金情報	14~16



市民活動全道フォーラム 参加無料

とき 2003年2月1日(土)~2日(日)

ところ **かでの2・7** (札幌市中央区北2条西7丁目)

北海道のNPO・NGO、市民活動実践者、企業や行政・自治体の担当者、NPO研究者が一堂に会するフォーラムが2003年2月、札幌で開催されます。当日は市民活動に関連したテーマで様々な分科会やパネル展示が行なわれます。NPO・NGO、市民活動の今とこれからを知る絶好の機会です。どうぞお越しください。

これから市民活動を始めたい人、始めたばかりの人、ベテラン市民活動家、行政で働く人、企業人、NPO研究者、ジャーナリスト・・・みんなでワイワイガヤガヤの2日間! 北海道のNGO、NPO、市民活動団体関係者が一同に会するフォーラムが2003年2月、札幌で開催されます。当日は市民活動に関連したテーマで様々な分科会が行なわれるほか、パネル展示、情報交換、交流会なども。市民活動の今とこれからを知る絶好の機会です。どうぞご参加ください。

参加を希望される方は、オープニングフォーラム、分科会、自主企画、分科会、まとめフォーラム、2日のお弁当予約を含めて、事前に下記まで、お名前・ご住所・連絡先(電話・E-mailなど)・差し支えなければ職場/団体名をお知らせください。

<p>お問合せ / 北海道NPOサポートセンター 電話 011-204-6523 FAX011-261-6524 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp ホームページ http://npo-hokkaido.org</p>

市民活動全道フォーラム オープニング/分科会/自主企画

2月1日(土)13:00~14:30 オープニングフォーラム (4F 大会議室)

「私たちのパワーで、心豊かな地域(マチ)を創ろう!」

~さあ、一緒に地域(マチ)づくりの一步を踏み出しませんか~

これから本格的な高齢化社会を迎えるにあたり、安心して生活できる地域づくりを考え、語り合う時間です。

コーディネーター 岩見 太市 (NPO法人シ - ズネット理事長)

シンポジスト 竹中 貢 (上士幌町長)

森田 裕子 (NPO法人旭川NPOサポートセンター理事長)

山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティ代表理事)

趣旨 今地域が問われています。ひたすら開発に突き進んできた20世紀の地域社会が崩壊しつつあり、新たな視点での地域の再生が課題になっています。

これから本格的な高齢社会を向かえる過程で地域づくりを行政に委ねるだけでなく、私たち市民層も関心を持ち市民活動の分野で地域課題に取り組む必要性とその方法について語り合います。私たちが安心して生活できる心豊かな地域(マチ)を創るために!

2月1日(土) 15:00~17:00 分科会

分科会	テーマ	受け持ち団体名	会場	定員	連絡先
1-1	「おとなも子どもも、楽しめるおもちゃ」 ~つなげよう、遊びの文化~	北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会	大会議室	216	011-846-8463 講師:藤田春義さん
1-2	アジアのNPOと市民	さっぽろ自由学校「遊」	520室	108	011-252-6752
1-3	えっ、まだやってない? 「活動団体のためのヒヤリ対処法」	地域支援クラブ(札幌)	510室	54	011-861-3360
1-4	支援費制度とNPO	地域生活ネットサロン(釧路)	540室	36	0154-44-5527
1-5	札幌広域圏の市民活動なんでも相談	(札幌広域圏組合=未定)	820A室	60	011-204-6523

2月1日(土) 17:30~19:00 各団体自主企画

自主企画	テーマ	受け持ち団体名	部屋番号	定員	連絡先
1	ボラナビの集い「お悩み座談会」	ボラナビ倶楽部	大会議室	216	011-242-2042
2	食と環境「お宝いっぱい北海道」	スタトレクラブ	520室	108	011-752-7217
3	「学べ働け! 学生がNPOで働くこと」	NPOアントレプレナーゼミ	510室	54	011-204-6523
4	コミュニティ放送局(仮)	さっぽろ村コミュニティ工房	540室	36	011-204-6523
5	IT NPO 交流会	インフォメンター	820A室	60	011-802-3561

2月2日(日) 10:00~12:00 分科会

分科会	テーマ	受け持ち団体名	部屋番号	定員	連絡先
2-1	市町村合併とNPO	道NPOサポートセンター	大会議室	216	011-756-0034
2-2	「企業とNPO交流会 in 札幌」	道NPOサポートセンター	520室	108	011-204-6523
2-3	「いのちの終わり」に関する活動紹介	葬送を考える市民の会	510室	54	011-261-6698
2-4	NPO起業家研修生が思う「NPOとは何か」	シニアマスターズネット	540室	36	070-6315-2348
2-5	「農のある暮らし」への招待状	編集工房 NODE	視聴覚室	60	090-3898-4696

市民活動全道フォーラム 2月2日(日)まとめフォーラム

13:00～15:00 **まとめフォーラム** (4F 大会議室)

～日本を変える「北海道ファースト！」のススメ～

北海道が先にお手本を示し、他の日本が後追いをするような、そんな夢のある考え方を仮に「北海道ファースト」と名づけよう。いま、北海道ファーストを夢と実践で示せるとしたら、広い意味での市民社会(NPO、企業、個人・・・)であると断言できる。NPOセクターを越えて、市民が北海道を起点に「日本の変革」を語り合う2時間。

コーディネーター 北海道ファースト提唱人 樽見弘紀 北海学園大学助教授
(北海道NPOバンク理事)

パネリスト 地場産業人 石水 勲 (石屋製菓社長) 依頼中
地場おこし人 高木晴光 (NPO法人ねおす理事長)
市民事業人 杉山さかえ (NPO法人北海道グリーンファンド理事長)
市民バンク人 佐藤 隆 (NPO法人北海道NPOバンク設立代表者理事)

市民活動全道フォーラム 展示 / 相談 / 交流コーナー

2月1日～2日 **1階展示ホール** 市民活動団体パネル展示(30コマ予定)
展示希望団体はお問い合わせください。

「NGO活動相談コーナー」(北海道YMCA担当)

「シニアのためのパソコン相談会」札幌シニアネット、小樽後志シニアネット共催

内容 シニアネット会員が、シニアのためのパソコン相談会を開催します。

2月1日(土)15時～17時 2月2日(日)10時～15時

札幌シニアネットは、とかちシニアネット、室蘭シニアネット、
小樽後志シニアネット(2月1日発足)と共同して、展示に参加します。

5階550室に交流スペース常設。「NPOなんでも相談コーナー」併設
(2日は昼食弁当も用意します。要予約。600円)

オープニングフォーラム、分科会、自主企画、まとめフォーラムは事前申し込みが必要です。

問合せ / 参加申込先：北海道NPOサポートセンター(担当：北村、小林)

電話011-204-6523 FAX011-261-6524

e-mail: npo@mb.infosnow.ne.jp URL: <http://npo-hokkaido.org/>

主催：北海道立市民活動促進センター 共催：北海道NPOサポートセンター

協賛企画 2月1日(土)18:30～20:30 参加申し込みは「遊」011-252-6752へ

公開講座	コモンズ行動学入門「公共事業はどこが間違っているのか？」お話 熊本一規	さっぽろ自由学校「遊」	視聴覚室	011-252-6752 参加費 一般1,000円
------	-------------------------------------	-------------	------	---------------------------------

2月1日～2日 市民活動全道フォーラム参加申込書(FAX用)

2月1日(土)13:00～14:30 オープニングフォーラム

シンポジウム「私たちのパワーで、心豊かな地域(マチ)を創ろう!」	4階大会議室	参加希望者	名
----------------------------------	--------	-------	---

2月1日(土) 15:00～17:00 分科会

分科会	テーマ	受け持ち団体名	会場	定員	参加希望者者
1-1	「おとなも子どもも、楽しめるおもちゃ」 ～つなげよう、遊びの文化～	北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会	大会議室	216	名
1-2	アジアのNPOと市民	さっぽろ自由学校「遊」	520室	108	名
1-3	えっ、まだやってない? 「活動団体のためのヒヤリ対処法」	地域支援クラブ(札幌)	510室	54	名
1-4	支援費制度とNPO	地域生活ネットサロン(釧路)	540室	36	名
1-5	札幌広域圏の市民活動なんでも相談	(札幌広域圏組合 = 未定)	820A室	60	名

2月1日(土) 17:30～19:00 各団体自主企画

自主企画	テーマ	受け持ち団体名	部屋番号	定員	参加希望者者
1	ボラナビの集い「お悩み座談会」	ボラナビ倶楽部	大会議室	216	名
2	食と環境「お宝いっぱい北海道」	スタトレクラブ	520室	108	名
3	「学べ働け! 学生がNPOで働くこと」	NPOアントレプレナーゼミ	510室	54	名
4	コミュニティ放送局(仮)	さっぽろ村コミュニティ工房	540室	36	名
5	IT NPO 交流会	インフォメンター	820A室	60	名

2月2日(日) 10:00～12:00 分科会

分科会	テーマ	受け持ち団体名	部屋番号	定員	参加希望者者
2-1	市町村合併とNPO	NPOサポートセンター	大会議室	216	名
2-2	「企業とNPO交流会 in 札幌」	NPOサポートセンター	520室	108	名
2-3	「いのちの終わり」に関する活動紹介	葬送を考える市民の会	510室	54	名
2-4	NPO 起業家研修生が思う「NPOとは何か」	シニアマスターズネット	540室	36	名
2-5	「農のある暮らし」への招待状	編集工房 NODE	視聴覚室	60	名

2月2日(日) 13:00～15:00 まとめフォーラム

シンポジウム～日本を変える「北海道ファースト!」のススメ～	4階大会議室	参加希望者	名
-------------------------------	--------	-------	---

2月2日(日) 昼食弁当予約 1個 600円 弁当 _____ 個 金額 _____ 円
 ランチボックス _____ 個 金額 _____ 円

【申込者】

お名前 _____

ご住所 (ご自宅または勤務先) _____

電話 (携帯・PHSでも結構です) _____

FAX _____

E-MAIL (お持ちであればお書きください) _____

勤務先・所属団体・ポジション等 (差し支えなければお書きください)

お申し込みは FAX か E-mail でお願いいたします FAX: 011-261-6524

E-mail: npo@mb.infosnow.ne.jp

NPO越智基金がNPO法人格取得

99年6月にNPO推進北海道会議の一部門として助成金配分を開始してから3年半が経過しました。NPO越智基金は元北教組書記長・副委員長で、札幌地区労働組合協議会議長を長年務められ、1997年に他界された越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されたことに由来します。NPO推進北海道会議は、越智さんの意志を受け継ぎ、『NPO越智基金』を設立しました。基金をより有効に活用するため、基金を取り崩してNPOへの助成事業を行うこととし、基金管理運用委員会(委員長 上田文雄北海道NPOサポートセンター理事長・弁護士)を設置し、1999年度は30団体に総額226万円、2000年度は、38団体に273万円、2001年度39団体に2,521,600円、今年度も引き続きNPO活動がより活発になるための一助になるよう、34団体に1,875,000円の活動助成を行なってきました。4年間で延べ141団体に9,386,600円(一件平均66,500円)の助成となりました。また、11月にはNPOバンク事業組合に500万円の出資を行っております。

12月末現在12,710,058円の助成原資がありますが、スタート時の約2500万円から半減しています。

この間の活動実績をふまえて、基金を積みまして助成希望に応えるべく、7月にNPO推進北海道会議から分離独立し、NPO法人格を取得し、将来の認定NPO法人を視野に態勢を整備することとしました。その一環として12月に道からNPO法人の認証を受け、登記も完了し、新たなスタート台に立ちました。

【NPO法人北海道NPO越智基金 理事長 上田文雄 理事 上野昌美, 小林董信, 佐藤隆, 杉岡直人, 杉山さかえ, 田口晃 監事 田淵直子】

北海道情報化人材バンク事業 パソコンを上手に使ってますか?

最近、助成金の情報でも、インターネットで即時に、申請書類などを取り出せることが多くなっています。例えば助成金情報の宝庫「シーズ・NPOWEB」<http://www.npoweb.gr.jp/>があります。

インターネット環境にない団体は、スタートから出遅れてしまいます。

インターネットやパソコンを使うには”ちょっとしたコツ”が必要です。そのコツを伝授してくれる人があなたの周りにいないとき、ぜひ「北海道情報化人材バンク」にお問い合わせください。

現在「北海道情報化人材バンク」には240名を超える「情報化ボランティア」(メンター=お師匠さん)登録があります。貴方の団体が必要とするインターネットやパソコンの技術と知識を持った方をご紹介します。(マッチングとよんでいます)マッチングが不成立になることもあります。

お問い合わせ 北海道NPOサポートセンター

情報化窓口：電話011-802-3548担当 小倉(おぐら)



インターネット投票実施中!

1月6日から31日までの間、インターネット投票を実施します。投票していただいた方の中から抽選で3名様に石狩管内特産品を差し上げます。

<http://www.ishikari.pref.hokkaido.jp/is-tssku/simin/sub1.htm>

お問い合わせ先 石狩支庁地域政策部地域政策課 hikari.chisei2@pref.hokkaido.jp

コミュニティビジネス会計業務支援事業進行中

北海道NPOサポートセンターは、北海道(総合企画部政策室)から委託を受け、NPO法人とワーカーズ・コレクティブを対象にした「会計業務」支援活動を行っています。

支援先団体(NPO法人かワーカーズコレクティブ)事務(会計)スタッフの自立した業務遂行能力の確保を目的に、経理の基礎の理解促進 NPO会計の理解促進 日常会計処理作業の支援 月次決算処理の支援を実施します。～ については、巡回訪問を中心に実施しています。支援先団体は次の15団体です。

【11月スタートコース】アースウィンド、あいあいテレビ放送、北の海の動物センター、札幌村文化センター、千歳めいぶるの会、札幌チャレンジド、北海道子育て支援ワーカーズ、札幌VO、ひだまり、ワーカーズ「レラ」

【1月スタートコース】いきいき東、福祉支援サポートセンターい、ボラナビ倶楽部、石狩国際交流協会、ケアワーカーたんぽぽ

NPOバンク便り

第4号から 2002年12月 北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合

第1回融資6件930万円を決定!! 融資原資総額3000万円突破
(道から1500万円出資含む)

第1回の融資審査を終え、札幌4件、釧路・函館各1件の介護・福祉、環境保全の分野で活動する団体に、運転資金として合計930万円の融資を決定しました。融資は年内に行われる予定です。また、サポーター皆様の暖かいご支援により、市民自らが中心となった自主・自律の新しい取組「NPOバンク」への融資原資も、12月18日の道からの1500万円の出資を加え、融資原資は第1回融資までの目標額であった3000万円を突破することが出来ました。NPOの資金ニーズは今後も高まることが予想されるため、個人サポーターを含め自治体や企業などにも更に積極的に出資をお願いしたいと思っています。

NPOバンク 出資金・寄付金状況(12月20日現在)

NPOバンク事業組合	NPO法人 北海道NPOバンク	NPOバンク(原資)	NPO法人 北海道NPOバンク	NPOバンク
出資金合計	寄付金(原資)	出資金+寄付金	寄付金(運営資金)	出資金+寄付金(全体)
¥30,584,500	¥1,000,000	¥31,584,500	¥250,000	¥31,834,500

NPOバンク 出資金+寄付金(全体) NPO 33件 企業4件 行政1件 個人111件

NPOバンクの果たす役割について 北海道NPOバンク 理事 佐藤 隆
(NPO法人 NPO推進北海道会議 理事・事務局長)

北海道NPOバンクが第1回融資を決定し、融資原資が当初の目標額としていた3000万円に達したことに、これまで様々なご支援、ご協力をいただいたサポーターの皆様、NPOバンクを支えていただいた関係者の方々に改めて感謝申し上げます。さて、このNPOバンクが果たす社会的役割について、これまでの取組を踏まえ、自分なりに次のように取りまとめてみました。

1 市民活動への社会的認知の向上

NPOバンクの話題が、数多く広報媒体に取り上げられたことで、「NPOとは何か」、「NPOの現状や課題」を一段と広く社会に浸透するきっかけとなったかと思います。

2 資金面における市民活動支援体制の構築

事業型NPOがかかえる最も重要な課題が資金の調達であり、NPOバンクができたことで、短期の運転資金を中心に融資することができるようになり、当座の支援体制を整えることができたと思います。

3 北海道の先駆性

NPOバンクは、NPO法人によるNPOへの金融システムとして全国初のもので、

また、市民・企業・団体だけではなく、行政からも出資協力を受けていることは協働プロジェクトの推進に道を拓くものになったと思います。

さらに、その組織においても専門家からなる融資審査委員会を設け、理事以外の学識経験者や民間金融実務担当者を交えて審査を行っており、また、審査方法も審査内容に客観性を持たせる独自の融資判定表を使用するなど、ボランティアによる民間金融組織として、画期的なものとなっていると考えています。将来的には、この融資判定表による審査を通じて、NPOに対する審査ノウハウが蓄積され、NPOの資金・財務分析研究のうえで、先駆的なものとなる可能性があります。

4 市民金融の可能性

現在、道内金融機関の貸出は減少しており、国債などの有価証券での運用が伸びています。これは、地域で集められた預金が地域の中に環流していないことを意味するものであり、地域経済が閉塞する要因になっていると考えます。このような状況下で発足したNPOバンクは、これまで資金がまわらなかったセクターに活動基盤を強化させることとなり、地域の中で資金の循環の加速と、ひいては地域経済の活性化に貢献するものと思われます。

また、NPOバンクは、専門家ボランティアが一般金融機関の審査手法と異なる独自の審査を行うことにより、NPOに対するリスク評価のあり方を提示するきっかけになり、将来的に一般金融機関によるNPOへの融資の道を開く可能性もあると思います。

さらに、NPOバンクと民間金融機関が連携して、短期・中期・長期の資金をそれぞれの金融機関が得意とする分野で融資できれば良いと考えています。

5 市民と産学官連携の新たなかたち

NPOバンクは、大学教員、民間金融機関職員、NPO団体役員、専門性を持つ民間人、行政関係者などの協力連携の活動から出発したものであり、民間の機動性と有識者の専門性と行政の事務調整機能がうまくマッチし、短期間に作成することができました。

加えて、この組織が具体的事業に踏み出すことになったのは、市民活動支援の要＝NPOへの資金供給というミッションを明確にしていたことが決め手となっており、有機的な連携の実現には、活動理念とミッションの共有が関係者の間に形成されていることが重要であると思います。

今後とも、NPOバンクへの皆様からの益々のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。私見ではありますが、私の報告を終わります。

NPOバンク第1回融資審査を終えて

北海道NPOバンク理事・融資審査委員長 上野昌美

北海道NPOバンクの第1回融資は、11月15日に受付を締め切りました。融資の申込は9法人、融資希望額は1,210千円でした。審査委員会では、さっそく審査に入りましたが、その後2法人から融資申込みの辞退があり、最終的には7法人の融資申込について審査を行いました。審査委員が書面審査、面接審査を実施し、都合4回の審査委員会を開催して12月6日に融資についての結論を出しました。審査結果は、6法人9,300千円について融資可、1法人300千円について融資不可となりました。審査結果は12月11日の理事会に報告し、承認されました。

今回の融資では、2法人から融資の辞退がありましたが、融資の概要について十分理解していただけではないこと、申込書類や審査資料が少なからず煩雑だったためです。また、融資をお断りした法人については、「事業計画」、「財務状況」、「資金繰計画」などの審査項目の点数が低かったため、融資不可という結果となりました。

今回の審査では、審査委員の方々には多大な時間と労力を提供していただきました。今回の経験をふまえて、審査書類、審査方法なども改善して行きたいと思っておりますので、是非ご意見をお寄せください。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内（担当：北村、古川）Tel 011-204-6523 Fax 011-261-6524

NPOバンクホームページ：<http://npo-hokkaido.org/>

道民チャレンジ21世紀ファン アル！】

【資料室/リンク集リニュー



道民チャレンジ21世紀ファンド（情報）～市民活動分野～は、北海道から北海道NPOサポートセンターが管理運営を委託されているインターネットサイトです。NPOの各団体が抱えている問題点、例えばお金がない、人が足りない、会計や税金のことが分からない、NPOの設立のしかた教えて、などさまざまな疑問、質問に応じていく「かゆいところを手をおかしますサイト」をめざしています。

<http://www.with.pref.hokkaido.jp/challenge/>

市民活動団体情報（欲しい支援の情報）/ 支援情報（さまざまな社会資源を提供する研究機関、企業、NPOが発信する情報）提供 / イベントカレンダー、電子掲示板（いまのところイベント情報が多い）電子会議室などを開設しています。

イベントカレンダーには各種イベント情報がたくさん掲載されています。（1月24件、2月の情報17件）リンク集もNPO支援団体、情報提供団体、助成団体中心に充実を図っています。お立ち寄りください。

NPOマネジメントセミナー 札幌，苫小牧で開催！ 講師：川北秀人さん

対象者：NPO関係者、NPOに関心のある市民、企業経営者、行政職員等 参加費：500円
申込方法：氏名、団体名、電話番号をご記入の上、FAX、E-mailのいずれかの方法でお申込ください。締切りは1月13日(月)までです。



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

1964年大阪生まれ。87年京都大学卒業。(株)リクルートに入社、国際採用・広報・営業支援などを担当し、91年に退職。国際青年交流NGOの代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。NPOや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント支援や、環境コミュニケーションの推進を支援している。

編著書・訳書『NPO 大国アメリカの市民・企業・行政』『市民組織運営の基礎』監訳：『NPO 理事の10の基本的責任』『理事を育てる9つのステップ』など多数。隔月刊の「NPOマネジメント」編集発行人。日本NPO学会監事、政府委員、大学講師等を歴任。

川北さんの「参加型セミナー」です。ただ話を聞いて帰るのでなく、一緒に考えるワークショップ型セミナーです。NPOマネジメントコンサルタントの第一人者、川北さんのエネルギーで明快な水先案内で「課題解決」の役に立つセミナーです。

NPOリーダー、スタッフの皆様、またこれからNPO起業を考えている皆様、NPOとの協働を模索されている国や自治体担当者、企業経営者・担当者のご参加をお待ち致しております。参加費500円

札幌 1月14日(火) 18:00~20:00
札幌市ボランティア研修センター
(札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F)
定員：40名(申し込みが必要です)

苫小牧 1月15日(水) 18:00~20:00
苫小牧市文化交流センター
(苫小牧市本町1丁目6-1)
定員：40名(申し込みが必要です)

「企業とNPOの交流会 in 苫小牧」

日時：2003年1月15日(水) 15:00~17:00

会場：苫小牧市文化交流センター(苫小牧市本町1丁目6-1)

参加費：無料 定員：30名

参加対象者：NPOに関心のある企業，市民，NPO関係者

企業経営者や市民にNPO活動を紹介。地元で活躍中のNPOの事例を発表し、意見交換・交流会を行います。

事例発表NPO

まちづくりセンターおあしす
しらおい創造空間「蔵」
がるだする
冒険の森未来工房

アドバイザー：川北秀人氏(IIHOE代表)

主催：北海道NPOサポートセンター

協力：日本財団

後援：苫小牧市、苫小牧民報社、苫小牧商工会議所



セミナー，交流会<お問合せ・参加申込>

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター 担当：関根

TEL：011-204-6523 FAX：011-261-6524

URL：<http://npo-hokkaido.org> E-mail：npo@mb.infosnow.ne.jp

北海道のNPO総合情報誌

北海道NPOサポートセンターが発行する

[えぬぴおん] 第2号 **市民活動情報満載!!** 12月10日発行 定価800円

グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議

フロント対談 田中康夫(長野県知事)VS 逢坂誠二(ニセコ町長)

NPO現場百景 B&B協会/葬送を考える市民の会/さっぽろ村コミュニティ工房/アイセック

特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大の佐藤郁夫先生の対談、話題のふれあいコンビニ「ば・じ・る」も登場! ほか、札幌微助人倶楽部さん、ワーカーズぽっけ、どんぐりなども登場 ただいま発進中NPOは、「おしゃまんべ夢くらぶ」です。

連載 新野生動物最前線/「NPOサポートセンター」縁起/NPO相談室/協働コーナー/コミュニティビジネス紹介/全国版NPO紹介/【リージョナル通信】

[えぬぴおん] 第3号 **予告** 介護NPO特集号。2月発行予定

グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム

フロント対談 香山リカ/逢坂誠二 現場百景 自然体験学校ねおす/TOMネット/NPO法人SSS/北海道住宅環境など この人に会いたい! 東原太陽グループ社長! それゆけNPO! あかびら未来21 道内トピックス...グロバルに目を向けて 自由学校「遊」台湾訪問記/札幌チャレンジド...ICカードと地域通貨チャレ/ごちボラ/北海道カルタをつくる会

特集...介護のNPOとその周辺の福祉サービス「NPOだからできる福祉サービスを」

アントレプレナーコーナー NPOライフ カルチャー BOOK...メイク・ア・ウィッシュ

アートなスポット・人 エコネットワーク コミュニティビジネスの可能性-世古一穂 : 協働コーディネーターの役割 フェイス&フェイス...ECOM森良さん ワーカーズコレクティブのページ

NPOサポート情報 労働相談室・NPO相談室 全国版NPO紹介...あおもりNPOサポセン 道内サポセン情報 イベントインデックス/読者の声

「ごちそうを食べて、ボランティアをしよう!」



問合せ ボラナビ倶楽部
電話 011-242-2042

ごちボラとは、「ごちそうを食べてボランティアをしよう」、という意味です。

北海道の企業や農水産者の製品を販売する、インターネットショッピングモールです。

価格は、道内送料込みと消費税込みで、2,000円・3,000円・5,000円の3種類です(道外発送は+500円)。

購入者は、価格の5%を、応援したい市民活動団体に募金することができます。

募金額を負担するのは出店企業です。

わたしたちは、北海道の市民活動を、さまざまな立場の人たち(購入者、企業、農水産者など)が、協力して応援できるようにしたいと思い、ごちボラを立ち上げました。

日本初の地域密着型の市民活動支援モールです。

特定非営利活動促進法に基づくNPO法人申請受理数・認証数(暫定数)

全国の申請受理数「北海道含む」 【11月30日現在】 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	10216	8976	39	62
道内の申請受理数 【11月30日現在】(北海道)	395	352	0	1

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。<http://www.with.pref.hokkaido.jp/npo/index02.html>

認証数の多い県 東京1928, 大阪704, 神奈川524, 北海道352, 千葉309, 兵庫278, 福岡268, 京都253, 愛知244, 静岡220, 埼玉208, 群馬185, 三重167, 長野148, 宮城138, 広島130

書籍案内 ハンドブック**市民の道具箱** 目加田説子編

発行 岩波書店 定価1600円+税

患者図書室、弁護士相談窓口、情報公開制度、住民投票、検索エンジン、NPO活動……。これは、おかしい。困った。なぜだろう？ 医療、法律、行政など、日常生活で抱く問題を解決するために72の社会的な「道具」を掲載しています。

さまざまな活動場面で知っておきたいこと現場体験のある48人の執筆者が、わかりやすく記述。関連した連絡先、インターネット URL などの資料も充実しています。

PART こんなときどうする

PART 道具箱

政治・行政編、司法編、医療編、生活者編、情報編、NPO編

「NPO編」は北海学園大学樽見先生がコーディネート。道内関係者、佐藤隆、小林董信、上田文雄、杉山さかえ、西部忠の各氏が執筆。他に川北秀人、田尻佳史、松原明、岡部一明氏などが執筆。(道NPOサポセンに申し込んでいただくと著者割引価格で提供します。電話 011-204-6523)

書籍案内 聞き書き「ちょっと青空」

聞き書き：吉田三千代

編集：「飛んでけ！車いす」の会

挿画：細谷 由未

発行所：(株)共同文化社

定価：1000円+消費税

佐藤マサヒロさん。51歳。脳性小児麻痺による両上下肢痙攣性麻痺と言語障害をもつ彼は、週に自選ヘルパー(自選ヘルパー制は、1種1級の障がい者が自ら選んだヘルパーを推薦して登録できる制度。2000年4月から札幌市で実施されている)3人と述べ10人前後のボランティアの人たちにより24時間の介助を受け、一人暮らしをしています。

この本は、20年間のマサヒロさんの一人暮らしの生活を、本人、ご両親、介助者、そしてドキュメンタリー映画「ちょっと青空」の監督・撮影の小林茂氏から「飛んでけ！車いす」の会の吉田三千代さんが聞き取りをして完成した本です。

当たり前のことなのですが、本を読みながら、マサヒロさんを通して、介助する側、される側・その間に、人間関係があって、はじめて成り立つ対等の付き合いが生き生きと、楽しく描かれています。この間ちょっと(だいぶ)落ち込んでいた私は、マサヒロさんとこの本の登場者たちから元気をもらいました。ありがとう。

追伸：この本の挿画がとっても素敵です。みんな生き生きして、何よりマサヒロさんのその時その時の表情が生きています。(紹介文：津田)

**NPOな...****新刊書籍 『NPOの税務【新版】』**

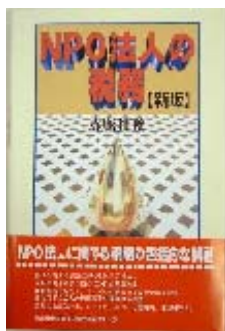
NPO法人に関する税制の包括的な解説書、公認会計士 赤塚和俊著花伝社 ISBN4-7634-0396-6 C0036ができてあがりましてので、ご案内いたします。A5版並製 定価2,000円(税抜) 送料210円(1冊の場合)です。

【目次】

- ・新版発行にさいして
- ・1章 会計と税務
- ・2章 収益事業
- ・3章 消費税
- ・4章 その他の税金
- ・5章 寄附金
- ・6章 認定NPO法人制度
- ・7章 源泉徴収の税務

好評・旧版を全面改訂し、「新版発行にあたり、トラブル事例など豊富な実例を収録」、「認定NPO法人の適用要件や問題点も解説」など、更に内容が充実したものになっています!! ご注文はファックス(FAX: 03-5227-2009)でサイズまで。

ご注文表が届き次第、本と請求書をお送りします。代金(本代+送料)のお支払いは、郵便振替: 00170-7-578227「サイズ」までお願いします。

**書籍案内****NPO「事務局長」論**

立派なボランティア団体、市民団体、NPOには優れたリーダーが不可欠です。しかし、リーダーは一色ではありません。これまで陽の目を当てることのなかった第2のリーダーである事務局長にはじめて本格的に焦点をあてた実践書。また、ネットワークの推進役であるネットワークワーカについても論究。団体の運営に関わるリーダー、役員、事務局のメンバーの必読書。

田中 尚輝 著
NPO事業
サポートセンター

価格：¥1,800円+税



北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-204-6523

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,500
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上～) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可(両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,500
		片面 B4 1000枚	3,000
		片面 A3 1000枚	3,500
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円が別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60～
介護保険指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁提出書類作成、提出までのサポートを行います	1事業所	7,000～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(※スタッフがお聞きし専門家につなぎます)
法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの司法書士、行政書士、税理士、弁護士などの専門家のアドバイスをいただいております。
NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

北海道NPOサポートセンター/NPO推進会議/NPOバンク/NPO越智基金

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号 011-204-6523 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間 10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

事務所には、「葬送を考える市民の会」と「札幌チャレンジド」の2団体が同居しています。

NPO推進北海道会議

札幌市北区北11条西4丁目1-29 炭労会館1階(土、日、祝日休み)

通常業務時間 10:00～17:00

電話番号 011-756-0034 FAX番号 011-716-2899

「SY企画室」をはじめ、「SOHO-NPO共同事務所」の位置づけで運用しています。現在、NPOサポートセンター分室、NPOインフォメンター、A SEED JAPAN ezorock、(有)キューベットなどが同居しています。

「NPO相談センター」

札幌市中央区北5条西6丁目 札幌通運ビル3階(ボラナビ倶楽部内)

電話番号 011 242 4333 FAX番号 011 24

2 2043

NPOの法上設立相談は事前に電話でお申し込みください。NPOの書籍販売も行っています。

情報BOX

親子自然ウォッチング 2003 冬「わんぱく遊び隊！」雪遊びスペシャル！～かまくら作りとお汁粉～

2003年1月18日 AM10:00～PM1:00

札幌市南区真駒内公園(地下鉄南北線真駒内駅から徒歩約25分)

活動内容 親子自然ウォッチング 2003 冬「わんぱく遊び隊！」雪遊びスペシャル！～かまくら作りとお汁粉～ 「わんぱく遊び隊！」はゲームを取り入れ、楽しく遊びながら、自然への理解を深める自然体験会です。一緒に遊びながら自然の不思議を発見してみませんか？

[集合] 真駒内公園 札幌市豊平川さけ科学館前 10:00

集合[参加対象] 4歳～小学3年生までの親子(小学生2年生以下は親同伴)[定員] 6～20名[参加費] 大人600円、子供400円[申し込み方法] tel/fax またはE-mailにて参加者全員の氏名、住所、電話、年齢をお知らせ下さい。[申し込み期限] 1月17日(金)[お申し込み・お問合せ先] 自然ウォッチングセンター 060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション704 電話番号 011-736-3165

ファックス番号 011-736-3165

電子メール wanpakuasobitai@hotmail.com

URL <http://homepage2.nifty.com/watching/>

文化芸術フォーラム in さっぽろ

～文化芸術振興基本法に期待するもの～

日時 1月18日(土) 13:00～15:30

場所 ザ・ルーテルホール(札幌市中央区南大通西6丁目仲通)

主催 文化芸術振興基本法推進フォーラム

協力 財団法人 音楽文化創造

後援 文化庁、北海道、北海道教育委員会

参加費無料先着200名様がお入場できます(開場12:30)

<プログラム>

・講話 嶋崎 譲(財)音楽文化創造理事長)

・施策説明 高塩 至(文化庁長官官房政策課長)

・パネルディスカッション

北海道教育大学名誉教授 谷本一之

文化庁長官官房政策課長 高塩 至

札幌室内歌劇場事務局長 中津邦仁

札幌市教育文化会館事業局長 藤村智子

・演奏会

曲: ドボルザーク: ピアノ三重奏曲「ドゥムキ」

演奏者: ヴァイオリン グレーグ ニキティン

(東京フィルコンサートマスター)

チェロ 荒木 均(札幌交響楽団)

ピアノ 谷本聡子(大谷女子短大助教授)

(問い合わせ 推進フォーラム事務局(社)芸団協内):

tel:03-5353-6606 担当: 関伊佐央)

WORLD PEACE NOW 1.18 in SAPPORO

もう戦争はいらない

～わたしたちはイラク攻撃に反対します～

「1.18 さっぽろピースアクション」の呼びかけ

ブッシュ政権の戦争に反対する米国の民衆は、ワシントンで20万人、サンフランシスコで10万人を集めた10月26日の集会に続いて、1月18日に、ワシントンを中心に大規模な反戦平和アクションを準備中です。世界中での共同行動も呼びかけられています。

<http://www.internationalanswer.org/>

日本でも東京で1月18日に広汎な平和団体の呼びかけによるイラク・ピースアクション(コンサート、パレードなど)が予定されています。

<http://www.worldpeacenow.jp/>

私たちも札幌で、全世界で行われる反戦平和アクション(行動)に合流し、ピースウォーク(平和を訴えて歩く)とリレートーク(集会)をしましょう!

さまざまな分野で活動している人々がいっしょになって、米国のイラク攻撃反対、日本の米軍支援反対、有事法制反対、北東アジアの平和を求めて?札幌でもピースアクションができれば、と願っています。

あなたも参加しませんか。

1.18(土) 12:40 大通り公園西4丁目に集まろう! <ピースウォーク>

12:40 大通公園西4丁目集合

13:00 ピースウォーク出発

<リレートーク> 14:30 リレートーク 16:00 終了

*会場 自治労会館(北6西7)

<連絡先> さっぽろ自由学校「遊」

TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751

syu@mbp.sphere.ne.jp

<http://i-cis.com/syu/>

札幌・野生動物保護セミナー

2003年1月18日 PM2:30～PM5:00

申し込み受付期間: 1月15日まで

開催場所 札幌学院大学社会連携センター(札幌市中央区南大通西6 地下鉄「大通」駅(1番出口)より徒歩にて1分)

活動内容 講演 竹中万紀子先生(東海大学講師)、金子正美先生(酪農学園大学環境システム学部助教授)

「地理情報システム(GIS)から見た道東の自然環境の変化」角本千治氏(オホーツクとっかりセンター)「アザラシの保護(仮)」特別報告 斉藤聡先生

(スペイン海鳥の油汚染救護派遣獣医師) トピックス 奥谷浩一先生(札幌学院大学教授) 三鍋良平先生

(北海道エコ・コミュニケーション専門学校専任講師) 森田正治(酪農学園大学獣医学部客員助教授) [資料代] 500円[申し込み方法] 名前、所属、tel、E-mailを明記して下記まで。

申し込み・お問合せ先 道東野生動物保護センター

電話番号 01537-2-1333

ファックス番号 01537-2-1333

電子メール animal@aurens.or.jp

とぉ～くの日

2003年1月19日 12:00～PM2:00

申し込み受付1月16日まで

おらがコンカリPROJECT事務所(西区琴似1条4丁目2-12 不二家2F)

活動内容 毎月19日を「とぉ～くの日」として、会員内部からゲストスピーカーを招き、テーマに沿った話題に花を咲かせようという集まりです。会員以外の参加も大歓迎。おらがコンカリPROJECTの理解者・協力者を増やしましょう。参加費: 500円(茶菓子付) 申込み: なるべく事前に申し込んでください。

担当者 斎藤ちず 佐藤ゆみ子

おらがコンカリPROJECT

住所 063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目2-12

電話番号 011-6154859 ファックス番号 011-6154859

電子メール concarino@mx6.et.tiki.ne.jp

<http://ww6.et.tiki.ne.jp/~concarino>

「裸足の1500マイル」プレミア上映と、特別対談。札幌のみ緊急実現!

1月22日(水) 18:00開場 18:30開映
18:30~「裸足の1500マイル」上映

終了後特別対談

ドリス・ピルキングトンさん(「裸足の1500マイル」原作者。主人公モリーの実の娘)

萱野茂さん(萱野茂二風谷アイヌ資料館館長)

司会 伊藤三郎さん

(元朝日新聞記者、朝日カルチャーセンター代表)

前売り 1700円(シアターキノ, 4プラ、大丸ブレイガイド, 朝日カルチャーセンターで発売)当日2000円(限定237席のため、売り切れの場合は当日券はありません)

アーバンホール(中央区南3西4アーバンビル7階)
問合せ シアターキノ 011-231-9355

CONE リーダー(初級)講習会

この講習会では、自然体験活動の目標や指導のコツからプログラムづくりまでを体系的に学ぶことができます。アウトドアガイド、社会教育指導者、教員やこれから自然体験活動をはじめようとする方、指導者を目指す学生などにもお勧めです。受講者は自然体験活動推進協議会(略称CONE)リーダー(初級)に認定、登録されます。

[日時] 2003年1月24日(金)~1月26日(日)(日帰り)[場所] 札幌市[内容] 自然体験活動の理念、自然の理解、対象となる参加者を知る、人と自然・社会・文化のかかわり、安全対策について、自然体験活動の指導法、自然体験活動の基礎技術、プログラムの作り方[参加費] 12,000円(登録料別途)

[問合せ先・お申し込み] 北海道自然体験学校 NEOS
電話番号 011-520-2066 fax 番号 011-520-2067
電子メール npo@neos.gr.jp

安積遊歩講演会

日時 2003年1月25日(土) 13:30~15:00

場所 北海道クリスチャンセンター

(札幌市北区北7条西6丁目)

参加費 1,000円 安積遊歩実行委員会

問い合わせ 電話・Fax 866-1113

ワーカーズ・コレクティブえこふりい担当上野千賀子

冬の自然観察会

[日時] 1月26日(日) 午前は講演「エゾシカは今」玉田克巳氏(北海道環境科学研究センター)。午後はスキーで糠平五の沢の森林へ入り自然観察。

[集合場所] 10:00 糠平温泉文化ホール集合 14:30 終了

[持ち物] 昼食、双眼鏡、歩くスキーあるいは山スキー、スキー貸出しあります。午前あるいは午後のみ参加も可[参加費] 無料[主催] ひがし大雪博物館・環境省大雪山国立公園上士幌自然保護官事務所

申し込み・お問合せ先

団体名称 ひがし大雪博物館

住所 080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平

電話番号 01564-4-2323

アニメ映画「明日に向かって」ありのまま物語

2003年1月31日 PM06:30~PM09:00

道新ホール(札幌市中央区大通西3丁目-6)

内容 小学校一年生の秋。スタートのピストルが鳴り一斉に走り出した。しかし少年は皆から少しづつ遅れ出

し、一周走するのに半周近く遅れてのゴールになってしまった。「・・・まさかあの子までが・・・」。兄二人が難病の進行性筋ジストロフィー。この病気は、2歳頃から発病し熱が出ることも、痛みを伴うこともなく気づかないうちに徐々に進行、やがては筋肉が萎縮し、身体全体が動かなくなり、多くは若くして亡くなると言われていた難病だった。

担当者 草の実平岸の里(宇井)

前売り 一般1300円 小中高800円(当日900円)

親子2000円(当日2300円)

申し込み・お問合せ先 草の実平岸の里

電話番号 011-817-9080

さっぽろ自由学校「遊」02年度後期講座「『コモンズ』入門と『先住民族の権利』論」

2003年1月21日~2003年2月25日(毎週火曜日)

時間 PM06:30~PM08:30

場所 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル2F207

さっぽろ自由学校「遊」ほか(公開企画は別会場となります。)

内容 「コモンズ」(共有財)という考え方とそれを活かした社会運動が、すこしずつ育ってきています。なにしろ水や空気まで、売り買ひするの譲るの、ということが問題になる時代です。地球上のあらゆるものが商品化されることに対して、土地や海や資源の私的所有に歯止めをかけるには、という発想から「コモンズ」という考え方が出てきました。そして、この考え方は先住民族の土地や資源に関する権利、前近代では広く認められていた入会権を回復して、所有を私有と国有の二つの形だけにしてきた近代の所有論を改革することを展望しています。そのことを学ぶ講座を開きます。

申し込み・お問合せ先 さっぽろ自由学校「遊」

電話番 011-252-6752 ファックス番号 011-252-6751

電子メール syu@mbp.sphere.ne.jp

ホームページ http://i-cis.com/syu/

鮭をたべられる幸せなヒグマはどれ程いるか? ~人とクマの共生をテーマとして~

開催期間 2003年2月4日

開催時間 PM06:30~PM08:00

開催場所 札幌 かでる2.7 視聴覚室

内容 ヒグマがサケをくわえる姿は、海から山へ連続する豊かな生態系の象徴とも言えるイメージです。しかし、現実にサケを秋の食料として利用できる境遇にあるヒグマは北海道にどれほどいるのでしょうか。ヒグマのいる場所までサケが遡上できない要因について、人間の開発行為や漁業生産などが挙げられます。一方、ヒグマがサケのいる川に近づけない要因として、目撃通報=有害駆除という慣習もあるのではないのでしょうか? 昨今のアウトドア志向は、ヒグマとの遭遇の機会を人間自らが増やしているとも言えないのでしょうか。近年、サケ類を自然産卵させようという社会的な動きがあります。では、サケの産卵を見ている時にヒグマと遭遇したとしたら、あなたはどうしますか? 写真家、桑原禎知さんの写真を見ながら人とクマの共生を考えてみましょう。

[定員] 60名[参加費] 1,000円[講師] 桑原禎知: 写真家、「Kon Photography」所属。北海道大学大学院水産学研究所修士課程修了。平成11~12年度 斜里町知床自然センター管理事務所でヒグマ・エゾシカ及び淡水魚の保護管理業務に従事している。

[申し込み方法] tel、fax、郵便で受け付け[申し

込み締め切り] 2003年2月3日(月)
申し込み・お問合せ先 NPO法人 アース・ウィンド
電話番号 011-207-8080 FAX 番号 011-207-8081

「100人の村」を使ったプログラム作り

ベストセラーとなった「世界がもし100人の村だったら」を使ったワークショップを体験し、これを応用した学習プログラムをつくります。

技法だけでなく、豊富な知識と洞察力に裏付けされたファシリテーターを目指します。

開発教育に興味のある方、実践力を高めたい方、特に授業に生かせる教材をお探しの先生にお勧めです。是非ご参加下さい。

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会・(財)札幌国際プラザ(予定)(社)北方圏センター・D-ネット(北海道開発教育ネットワーク)

日時：2003年2月8日(土)・9日(日)2日間

8日14:30~20:00 9日9:00~15:00

会場：NTTセミナーセンター 電話552-8400

札幌市中央区南2条西7丁目

対象：小学校・中学校・高等学校の教員/NGO関係者
学生・総合教育に関心のある方

定員：30名 費用：4,000円(資料代・消費税込)

*当日会場でお支払い下さい。

講師：田中治彦(立教大学教授・開発教育協会代表理事)

申込・問い合わせ先：北海道YMC A 総主事室

〒064-0811 札幌市中央区南1条西1丁目

電話011-561-5217 FAX 011-563-0041

E-mail:satou@kitala.ne.jp

助成金情報

インターネット環境にない

NPOのみなさまへ

「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介

北海道情報人材バンクの活用方法

パソコンの導入設定・インターネット環境整備

助成金情報取得支援

助成金申請サポート

を行っています。(地域によって対応できない場合があります)詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523

eparts(イーパーツ)では、日本国内でボランティア等の活動をしている非営利団体を対象として、その活動の情報化を支援する目的に、ペンティアムII 200MHzクラス以上のリユースPCを、一団体につき上限10台まで寄贈いたします。

1. 寄贈目的と寄贈対象

寄贈目的 非営利団体の情報化支援

寄贈対象 公益性をもつ活動(ボランティア活動等)を行い、かつ、予算等の諸事情により情報化が遅れている団体。

2. 応募期間 偶数月(2月、4月、6月、8月、10月、12月)1日~7日

応募方法 epartsのホームページ上で偶数月1日~7日に掲載されるフォームに必要事項をお書きの上、お申し込みください。詳細は、下記ホームページを参照してください。

<http://www.eparts-jp.org/>

eまちづくり交付金

住民の目に見える形でITを活用した地域情報化のモデル事業を全国展開するために必要な経費を市町村に交付する。

1. 施策の概要

(1) 事業主体市町村または市町村の連携主体

(2) 要件地域における知恵と工夫の競争を通じた個性あるまちづくりを推進する事業で、次の要件を満たすもの。

IT関連技術を組み合わせた実証実験の実施、ITを活用した地域振興モデルの構築、地域の個性豊かなコンテンツの制作に関するもの

地域の中小IT企業・NPO法人等が参画していること

IT人材の新規雇用を創出するもの

事業を早期に執行できるよう、今年度の補正予算に計上可能であること

【詳細】財)電気通信高度化協会<http://www.tac.or.jp/>

環境事業団地球環境基金

平成15年度助成金交付要望募集のお知らせ

【募集期間】1月6日(月)~1月27日(月)午後5時迄(当日消印有効)

【助成の対象となる団体】「民間の発意に基づき活動を行う営利を目的としない法人その他の団体」

【問い合わせ・要望書類提出先】環境事業団地球環境基金部助成課 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル4F tel 03-5251-1076 fax 03-3592-5090 E-mail:kikin@jec.go.jp

「リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金」ドナー・アドバイズド・ファンド

2003年度助成事業(2002年公募)の公募

締め切りは2003年3月19日(水)必着です。

意欲的なプロジェクトをお待ちしています。

(1) HIV/エイズの予防

(2) 経済的自立の支援

(3) 新しい教育機会の創出

お問い合わせ/申請書提出先 (財)日本国際交流センター「リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金」〒106-0047 東京都港区南麻布4-9-17

TEL:03(3446)7781(代)/03(3446)7954 10:00-17:00

(土日 祝祭日を除く) FAX:03(3443)7580

E-mail:Levi_fund@jcie.or.jp

第34回(平成15年度)

三菱財団 社会福祉事業並びに研究助成応募要領

1. 助成の対象

事業・研究の内容

現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)。

2. 助成の概要

(1) 助成金額

総額約9千万円を予定。1件宛の金額は特に定めない。
(採択予定件数約30件程度)

(2) 助成金使途「開拓的・実験的事業ないし研究」を基軸とした下記資金。

- イ. 調査研究費
- ロ. 施設費(建設、設備)
- ハ. 施設以外の経費(職員研修費等も含む)

3. 助成期間

助成決定から1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継続」も認められます。

4. 応募方法

原則HPから申込用紙を取り寄せる。

<http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

やむを得ない場合は、財団事務局宛、「宛先記入済の返信用角2(A4サイズ)封筒に、140円切手貼付」の上、郵送ご請求あれば用紙等お送り致します。

(80円切手貼付の返信用封筒を同封して下さい)。

応募期間 1月8日(水)～1月22日(水)
(期間内に必着のこと)

【申込書提出先】

財団法人 三菱財団 事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号
(三菱ビル15階)
Tel. 東京 (03)3214-5754 Fax. 東京 (03)3215-7168

音楽活動・美術館等の美術展・演劇活動・ 伝統芸能に対する助成 財団法人UFJ信託文化財団

事業の内容

「地域文化の向上・発展にお役に立てることを」との設立趣旨に則り、地域における次の各分野への助成を行っています。

1. 音楽活動に対する助成
2. 美術館等の美術展に対する助成
3. 演劇活動に対する助成

助成公演・美術展の募集・選考

1. 募集時期・対象 時期 毎年1回 募集開始10月、締切り翌年1月末対象 助成の対象となるのは、翌年度(翌年4月～翌々年3月)に実施される公演・美術展

2. 応募方法

当財団所定の「助成要望書」に必要書類を添付して提出して下さい。

3. 選考方法

選考委員会の審査を経て、助成団体及び助成金額を理事会にて決定します。

4. 助成金の交付時期

助成決定後、助成対象となった公演・美術展が実施される1ヶ月前に銀行振込等により、交付することを原則とします。

5. 助成金贈呈式

毎年7月、東京に於いて実施を予定しています。助成決定後、各対象団体に通知します。

当財団の事業活動及び助成に関するお問い合わせは下記までお願いします。

財団法人 UFJ 信託文化財団
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番3号
(UFJ信託銀行本店ビル8F)
TEL 03-3218-0611, FAX 03-3201-2935

アジア草の根交流助成

平成15年度用 For fiscal 2003-2004

(1) 助成対象事業

日本とアジア諸国の一般市民同士の相互理解を深め、友好親善を促進することを目的に、日本国内または海外で実施される国際的な文化行事や会議等市民レベルの各種文化交流事業とします。日本からの参加者があれば、2か国間の交流事業でも、または多国間の交流事業でも対象となります。

特に、次に掲げよう事業を優先します。

イ. 日本とアジア諸国の参加者同士の交流の要素が強く認められるもの

ロ. 事業のテーマや内容に先駆的要素やパイロット性のある斬新なもの

ハ. 参加する日本とアジア諸国の団体・グループの間で関心や課題についての意識が十分に共有されており、共通の課題の解決を目的に協力して行うもの

ニ. 事業の達成目標が明確で、事業を実施した後に具体的な成果が期待できるもの

ホ. 国際交流の基盤整備という観点から、地域における国際交流の担い手となる人材の育成や日本とアジア諸国間の市民同士のネットワーク構築につながるもの

ヘ. 将来、事業の発展が期待できるもの 毎回同じ内容が繰り返される事業は、優先度が低くなります。日本語教育および自然科学分野の主題を専らとするものや、営利活動、宗教活動、政治活動、選挙活動などを含むものは助成対象とはなりません。

(2) 実施期間

平成15(2003)年5月1日から平成16(2004)年3月31日までの間に実施される事業を助成対象とします。

(3) 申請資格

国際交流活動を行っている日本国内の非営利団体・グループ(法人格を持たない任意団体を含みます。)

(4) 助成内容

次の費目の範囲内で経費の一部を助成します。助成金は1件あたり100万円を上限としますが、アジアセンターが事業経費の全体を負担することはありません。

(5) 申請方法

原則HPから申込用紙を取り寄せる。

やむを得ない場合は、

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー1F 国際交流基金アジアセンター国内事業課
電話: 03-5562-3892

(6) 提出締切日

平成15(2003)年1月31日(金) 必着

平成15(2003)年5月～平成16(2004)年3月の間に実施される事業が対象となります。

河川環境管理財団からの募集案内

平成15年度河川整備基金助成事業を募集しています(2002年12月5日～2003年2月14日)。

平成15年度の募集要項および申請書はHPからダウンロードできます。担当: 研究1部 今井、渡部

T: 03-3297-2644 F: 03-3297-2677

E: info@kasen.or.jp, watanabe-ht@kasen.or.jp

(助成の対象)

助成の対象は、日本国内における自発的で、継続的な環境教育や地域環境の保全などの活動(業として行う活動は除く。)とします。例えば、こどもエコクラブの

サポーターや環境カウンセラー等が行う環境教育活動（エコッキング教室・講演会等を含む。）省資源・リサイクル、山・川・湖沼・海の水質浄化等、環境情報の収集・提供及びその他の環境保全活動とします。

（申請者の資格）

助成を申請される方は、次の二つの条件を満たす方とします。

（1）日本国内において、環境教育や地域の環境保全活動を継続的に行っている団体又は個人であること。

（2）日本国内の団体又は個人からの推薦があること。（推薦者は環境問題に造形の深い学識者や関連分野の専門家等（行政を含む。））

（助成金の額）

1活動（1申請者1活動に限ります。）あたりの助成金額は、30万円を上限とします。

（助成金の使途）

助成金の使途は、環境教育活動や地域環境保全活動に要する講師謝金、交通費、教材・資料等の作成費及び会場借料等とし、飲食費は含みません。

（助成対象期間）

助成対象期間は、原則として毎会計年度（4月1日～翌年3月31日）内とします。

お問い合わせ先

財団法人日本環境協会「藤本倫子環境保全活動助成基金」運営委員会事務局

住所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階 電話 03-3508-2651 FAX 03-3508-2570

ホームページアドレス：<http://www.jeas.or.jp>

平成15年度第1期 セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

～市民のボランティア活動を応援しています～

応募要項

1. 対象団体

日本国内において「環境」を主テーマとして活動している下記のいずれかに当てはまる団体

(1) 環境市民ボランティア団体

(2) 「環境の保全を図る活動」を活動目的として認証されている特定非営利活動法人（NPO法人）

* 「市民」から生まれた活動であること

* 「地域」に根ざした活動であり、広く地域社会に還元できる効果が期待できるものであること

* 活動に「継続性」があり、実績を残せること

2. 活動分野

1) 助成申請する「活動の目的」が下記のいずれかに当てはまる（複数可）

(1) 自然環境保全 (2) 地域環境美化 (3) 体験型環境学習 (4) 生態系保護 * 環境省が定める「レッドリスト・レッドデータブック」で絶滅危惧に分類されている動植物の保護に関わる生態系保護活動に限る (5) 環境パートナーシップに基づくまちづくり・地域づくり

2) 助成申請する「活動の種類」が下記のいずれかに当てはまる（複数可）

(1) 実践活動 * 最優先助成対象

(2) 調査・研究活動 * 実践及び啓発につながる活動を条件とする

(3) 普及啓発活動

(4) 環境市民ボランティア間のネットワーク活動

3. 対象期間 平成15年3月1日から平成16年2月29日の1年間に実施される活動を対象とします。

4. 助成金額 1 団体あたりの助成金上限は敢えて設

定していません。但し、事業内容、事務局経費等で、助成対象外になる項目があります。

5. 助成金の使途 申請された活動に必要なと思われる経費に幅広くご利用いただけます。ただし、講師等への謝金、並びに事務局運営のための人件費・交通費・家賃・通信費等は対象になりません。

6. 報告の義務 活動終了後に、活動の結果・成果ならびに助成事業にかかわる会計報告等につきまとめた「事業完了報告書」を、必ず活動状況が確認できる写真を添付の上、提出していただきます。

7. 必要書類

(1) 平成15年度第1期 助成金交付申請書

(2) 申請団体会則（定款）

(3) 役員名簿

(4) 前年度（平成14年）事業報告書

(5) 前年度（平成14年）会計報告書

(6) 本年度（平成15年）事業計画書

(7) 本年度（平成15年）収支予算書

(8) 団体の活動告知物（会報・活動告知チラシ・活動報告書等）

8. 助成対象団体の選考 助成対象については、提出書類をもとにセブン-イレブンみどりの基金助成選考委員会にて審査・選考いたします。

9. 助成先決定通知および助成金交付方法 審査・選考結果は平成15年4月末までに、申請者全員に書面をもってご連絡いたします。なお、助成金の振込送金は全額前払いにて平成15年5月を予定しております。

10. 応募先 〒105-0013

東京都港区浜松町 1-27-9 新浜松町ビル6階

セブン-イレブンみどりの基金

環境市民ボランティア活動助成事務局

担当 高木・坂本

T E L : 03-5733-2526 F A X : 03-3435-1065

E-MAIL : oubo@7midori.org

URL : <http://www.7midori.org>

11. 応募締切日 平成15年2月末日 《必着》

12. その他 平成15年度は、第1期（2月末締め切り）・第2期（6月末締め切り）の年2回、一般公募を実施します。尚、原則として、1団体への助成金交付は年1回1事業とします。

助成金情報につきまして不明の点は、助成団体にお確かめください。

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口晃(北海道大学教授)

事務局長 佐藤隆

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

TEL (011)756-0034 FAX(011)716-2899

<http://npo-hokkaido.org>

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 上田文雄(弁護士) 事務局長 小林董信

〒060-0052 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタ

ビル2F TEL (011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp